

発掘された日本列島  
2017 地域展示

み え ほ  
**三重を掘る!**

2017.9.30(土) ~ 11.5(日)

会 場：三重県総合博物館 MieMu 3階企画展示室  
三重県総合博物館 第17回企画展「発掘された日本列島2017」  
三重県埋蔵文化財センター 第36回三重県埋蔵文化財展



発掘された日本列島2017 三重会場

主 催 文化庁、三重県総合博物館、三重県埋蔵文化財センター、中日新聞社、  
全国新聞社事業協議会  
協 力 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、  
公益財団法人元興寺文化財研究所、共同通信社  
後 援 全国史跡整備市町村協議会  
助 成 公益財団法人 岡田文化財団



私たちが暮らす地面の下には、遠い祖先が暮らしたあしあとが「遺跡」として残っています。

三重県にはおよそ 14,000 か所の遺跡があり、県内各地で発掘調査が行われています。調査によって見つかった建物のあとや土器・石器などを調べると、昔の人々の生活や工夫を知ることができます。また、三重を掘ると、日本列島の「東西文化の結節点」ならではの発見があります。本展覧会では、発掘調査からみえてきた三重の歴史をご紹介しますとともに、地中に埋もれていた逸品を展示します。

## 三重の旧石器時代 約 34,000 年前～約 13,000 年前

人類がはじめてつくった道具は石器です。土器がつくられるまでの時代を旧石器時代といいます。この時代の人々は石でできたナイフや鋸で動物や魚を狩り、移動しながら暮らしていたとみられます。



内垣外遺跡（多気町）  
石器 旧石器時代

内垣外遺跡（多気町）  
旧石器時代

県内で確認されている最も古い遺跡です。約 29,000 年前～26,000 年前に火山灰が積もった地層の下から、石器や、石器をつくる際にできた破片が見つかりました。



## 三重の縄文時代 約 13,000 年前～約 2,800 年前

縄文時代の気候は温暖で、人々は竪穴建物に住み、動物、魚、木の実や貝などを食べ、森や海の恵みをいかした生活をしていました。土器が発明され、容器や、煮炊きをするための器として使われました。

三重県には縄文時代の遺跡がおよそ 1,050 か所あり、その多くは丘陵や山の中に位置しています。土器につけられた模様や、様々な形をした石器、朱がついた土器、アクセサリーなどから、縄文時代の豊かな暮らしを知ることができます。



天白遺跡（松阪市）  
縄文土器 縄文時代後期



粥見井尻遺跡（松阪市）石器  
縄文時代草創期



鈴山遺跡（菰野町）竪穴建物  
縄文時代中期



志知南浦遺跡（桑名市）土器棺墓  
縄文時代晩期

### 縄文時代のアクセサリー



山添遺跡（松阪市）  
球状耳飾り 縄文時代前期



小牧南遺跡（四日市市）  
垂飾 縄文時代中期



上ノ垣外遺跡（多気町）  
大珠 縄文時代後期



天白遺跡（松阪市）  
小玉・勾玉 縄文時代後期



石材は  
ビズイ!!



## 縄文時代のまつり・いのり



天白遺跡（松阪市）  
石が円形に並べられたあと



国指定史跡  
天白遺跡（松阪市）  
土偶  
縄文時代後期

天白遺跡では、石が円形に並べられたあとが37か所みつかりました。周辺からは、土偶や石棒がたくさん出土したことから、天白遺跡でまつりやいのりを行っていたと考えられます。

約13,000年前  
日本最古級!



県指定史跡  
粥見井尻遺跡（松阪市）  
土偶  
縄文時代草創期

粥見井尻遺跡では、竪穴建物から、女性のからだを表した土偶がみつかりました。土偶は装飾性のないシンプルな形をしています。

県指定有形文化財

## 三重の弥生時代

約2,800年前～約1,750年前

弥生時代になると、米づくりが広まりました。米は栄養があり蓄えることができるため、人々の暮らしは以前よりも安定しました。その一方で、穀物は財産となるため、人々の間に貧富と階層差がうまれました。農耕に適した土地や水、蓄えた米などを巡ってムラとムラの争いがおこるようになると、人や動物からムラを守るため、集落のまわりに濠を巡らせた「環濠集落」がつけられました。

### ムラを掘る！



納所遺跡（津市）  
弥生時代前期～古墳時代前期

納所遺跡には、弥生時代から古墳時代にかけて継続的に営まれたムラがありました。三重県を代表する大きなムラのあとです。

### 濠を掘る！



村竹コノ遺跡（松阪市）環濠 弥生時代後期  
調査の成果や周囲の地形の状況から、環濠は直径およそ300mの広い範囲を囲んでいると考えられます。これは、同時期の遺跡のなかでは、県内最大の面積です。



小牧北遺跡（四日市市）方形周溝墓  
弥生時代後期

弥生時代の有力者は、盛り土を溝で四角く囲ったお墓に葬られました。



森山東遺跡（津市）水田跡  
弥生時代

弥生時代の水田は、現代に比べて一区画が小さくつくられています。

### 石斧づくりのムラ

宮山遺跡では、製作途中の石斧や、石を割ったり、たたいたりするための石器がみつかったことから、石斧の生産集落であったことがわかりました。宮山遺跡でみつかった石斧は、鈴鹿山系で産出されるハイアロクラストイトと呼ばれる石材でつくられています。この石材でつくられた石斧は、伊勢湾沿岸部の代表的な弥生時代集落で確認されています。



#### 製作途中の石斧



宮山遺跡（いなべ市）  
弥生時代中期

県指定有形文化財

#### 磨き上げられた石斧



納所遺跡（津市）  
菟上遺跡（四日市市）



# 三重の古墳時代

約 1,750 年前～約 1,400 年前

各地域を治めた有力者が、古墳という大きなお墓をつくった時代を、古墳時代といいます。近畿地方には、日本列島各地の豪族を従えた大王がいました。三重県にも、近畿地方や東海地方の勢力と関わりがあった豪族が住んでいました。



雲出島貫遺跡と雲出川・伊勢湾

雲出島貫遺跡（津市）弥生時代後期～古墳時代前期

雲出川下流域は、近畿地方からみて東国への出入りに位置しています。雲出島貫遺跡は、この地域の拠点的な集落でした。

## 豪族の館

高茶屋大垣内遺跡（津市）古墳時代前期

伊勢湾を見下ろす台地の縁から大型の掘立柱建物がみつかりました。建物は、豪族の居館や、その権威を示すための施設と考えられています。



大型の掘立柱建物

## 豪族のまつり

城之越遺跡（伊賀市）古墳時代前期 国指定名勝及び史跡

石を貼りつけてつくられた、造形的な大溝がみつかりました。大溝は、この地域の豪族が水辺のまつりを行った場所と考えられます。



大溝



県指定有形文化財

六大 A 遺跡（津市）韓式系土器・初期須恵器 古墳時代中期

## とらいじん 渡来人と新しい技術

古墳時代には朝鮮半島から多数の技術者が渡来し、窯をつくり高温で土器を焼き上げる方法や鉄の加工など、新しい技術が伝わりました。津市の六大 A 遺跡では、渡来人が使用していた器とされる韓式系土器や、高度な技術の移入によってつくられるようになった初期須恵器がたくさん出土し、渡来人に関わる集団がこの地に住んでいたことが明らかになりました。木造赤坂遺跡から出土した陶質土器も、朝鮮半島との具体的な交流を示す資料です。



県指定有形文化財

木造赤坂遺跡（津市）陶質土器 古墳時代中期



河田宮ノ北遺跡（鈴鹿市）木製品 古墳時代中期

## 木でつくられた道具

低湿地や川のとなど、水分を多く含んだ場所を発掘調査すると、木でつくられた建築部材や道具がみつかります。弥生時代以降、米づくりの広がりとともに、農耕具を中心に木製の道具が盛んにつくられました。

六大 A 遺跡（津市）倒れた壁材 古墳時代中期



## 古墳の上にならべられた埴輪



深長古墳（松阪市）

壺形埴輪

家形埴輪



大足古墳（松阪市）

前田町屋遺跡（津市）

人物埴輪



中ノ庄古墳（松阪市）

中ノ庄古墳（松阪市）

石薬師東古墳群（鈴鹿市）

三重県で最も大きい馬形埴輪！



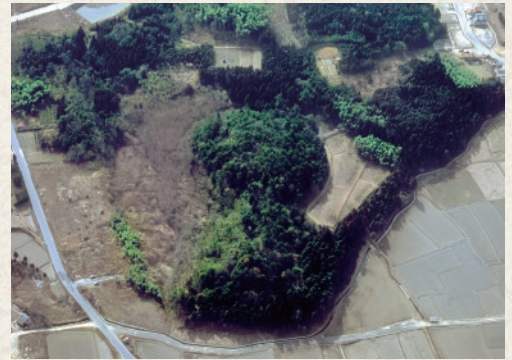
県指定有形文化財

石薬師東古墳群（鈴鹿市）

馬形埴輪



古墳時代、大王や豪族といった有力者は、その威厳を示すため、盛り土をした大きなお墓に葬られました。三重県にはおよそ7,100基の古墳があります。なかでも近畿地方に近い伊賀地域には、県内で最も多くの古墳がつけられました。



国指定史跡

御墓山古墳 (伊賀市) 前方後円墳 古墳時代中期

伊賀市にある御墓山古墳は全長 188mの前方後円墳で、県内最大の古墳です。

### よこあなしき せきしつ 横穴式石室を掘る！



井田川茶白山古墳 (亀山市)  
古墳時代後期

横穴式石室とは、石を積んで部屋と入口を設け、その上に土を盛った埋葬施設です。井田川茶白山古墳の石室には、石棺がふたつ納められていました。



横穴式石室と石棺



画文帯神獣鏡



龍の模様が描かれた大刀



装身具



馬具



鉄鍬

### もっかんじきそう ぼ 木棺直葬墓を掘る！



東条1号墳 (伊賀市)  
古墳時代後期

木棺直葬とは、墳丘の上から掘った穴に木棺を納める埋葬方法です。東条1号墳では、木棺直葬墓がふたつ並んでみつけられました。ひとつの棺には武器類、もうひとつの棺には銅鏡や装身具が納められていたことから、葬られた人物は、男性と女性であったと考えられます。



ふたつの木棺直葬墓



東条1号墳出土品

県指定有形文化財

## 古墳から出土した品々



上椎ノ木1号墳 (亀山市)  
古墳時代前期

太岡寺1号墳 (亀山市)  
古墳時代後期



天童山8号墳 (伊賀市)  
古墳時代後期



# 三重の古代

約 1,400 年前～約 900 年前

奈良県や京都府にあった都を中心として、政治や法律といった社会の仕組みが整えられました。

古代、三重県には、伊勢国・伊賀国・志摩国と紀伊国の一部がありました。今の県庁にあたる国府は、紀伊国以外は現在の三重県にありました。そのほか県内には、郡衙や駅家、重要な関所であった鈴鹿関、朝廷の祭祀を担う齋宮・離宮院や様々な寺院があり、そのいくつかは発掘調査が行われています。

## 寺院を掘る！

7世紀後半になると、県内各地に寺院が建立されました。名張市にある夏見廃寺からは、金堂や講堂のあとが発見され、お堂の壁にタイルのように貼り付ける埴仏が出土しました。津市の鳥居古墳からは、銅板でつくられた押出仏がみつかりました。押出仏はこの地域における仏教文化の広がりを示す貴重な資料であり、古墳からの出土も全国的に珍しい例といえます。



国指定史跡  
夏見廃寺 (名張市)  
埴仏  
飛鳥時代

鳥居古墳 (津市)  
押出仏  
飛鳥時代

## 役所や館を掘る！

伊勢国府跡、伊賀国府跡は、それぞれ鈴鹿市と伊賀市でみつかり、発掘調査によって建物のあとなどが確認されています。志摩国府跡はまだみつかりませんが、地名や文献から志摩市内にあったと推定されています。



国指定史跡  
伊賀国庁跡 (伊賀市)  
奈良時代～平安時代

伊賀国府があった場所は長い間不明でしたが、発掘調査によって柘植川の北岸に主要な建物が確認されました。国庁が置かれた範囲は一辺約40mと考えられ、建物を囲む柱列や溝が方形に巡らされていることがわかりました。



小谷赤坂遺跡・堀田遺跡・舞出北遺跡 (松阪市)  
カウジデン遺跡 (多気町) 土馬 奈良時代

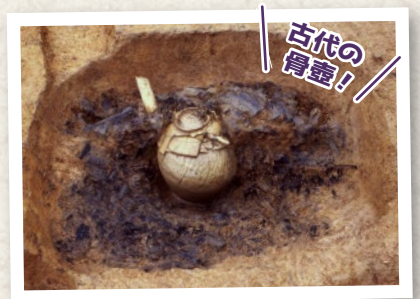


国指定史跡  
齋宮跡 (明和町)  
奈良時代～平安時代

齋宮には、齋王の宮殿と齋宮寮と呼ばれる役所がありました。齋王は皇族の女性で、天皇に代わって伊勢神宮に仕えるため都から伊勢に派遣されました。齋宮跡では、毎年継続的に発掘調査を行っており、大型の掘立柱建物や、道路によって区画された「方格地割」の発見など重要な成果が上がっています。

齋宮跡最大の掘立柱建物 (平安時代)

写真：齋宮歴史博物館提供



長谷町遺跡 (明和町)  
火葬墓 平安時代後期

# 三重の中世

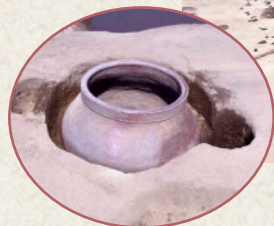
約 900 年前～約 400 年前

中世は、現代の都市や村落の原形となるような生活の仕組みや、集落のかたちが整った時代です。この時代の三重県は東西交流の要として人々の往来が盛んになり、多くの物資が行き交いました。

## 都市を掘る！

安濃津柳山遺跡 (津市) 鎌倉時代～室町時代

安濃津は、都からみて東国・鎌倉への玄関口で、博多津 (福岡県)・坊津 (鹿児島県) とならんで「日本三津」のひとつに数えられていたほどの重要な港でした。明応7年 (1498) の大地震で壊滅的な被害を受けたと伝えられ、実態はよくわかりませんでしたが、発掘調査によって建物のあとや土器・中国銭などがみつかったことで、中世都市安濃津の姿が明らかになってきました。



安濃津柳山遺跡 (津市)  
調査区全景と出土した常滑焼大甕



## ちゅうせいぼ 中世墓を掘る！

くもずしまぬき  
雲出島貫遺跡（津市）  
鎌倉時代

雲出島貫遺跡では鎌倉時代の大規模な屋敷地が調査され、出土資料から、京都とつながりの強い人々が住んでいたことが推測されています。みつかった中世墓は、屋敷の一面に単独でつくられる「屋敷墓」で、木棺のなかには腰刀・漆塗小箱・方形鏡・貿易陶磁器といった高価な品々が納められていました。葬られた人物は、豪華な品を手に入れることができた有力者であったと考えられます。

きょうづかちゆうせいぼ  
経塚中世墓（いなべ市）  
鎌倉時代

経塚中世墓では、丘陵上で43基のお墓が発見されました。各々の墓は石などで区切られており、有力な一族もしくは集落の共同墓地であったと考えられます。この時代のお墓は、雲出島貫遺跡のように「屋敷墓」をつくる場合と、経塚中世墓のように共同の墓地をつくる場合があります。



雲出島貫遺跡（津市）中世墓出土品・中世墓



経塚中世墓（いなべ市）中世墓出土品・中世墓

## 中世人のいのり

たげきたばけし  
安濃津柳山遺跡（津市）・多気北畠氏遺跡（津市）  
みのすしやのたか  
箕升氏館跡（伊賀市）ほか 犬形土製品 室町時代～戦国時代

犬形土製品は、城館跡を中心に武士にゆかりのある遺跡から出土しています。安産多産の象徴とされる犬に、子どもの無事な誕生と成長を願っていたのでしょうか。



## 三重の近世

約400年前～約150年前

江戸時代、幕府によって五街道が整備されました。三重県内には五街道のひとつである東海道が通り、聖地伊勢や熊野に向かう街道なども整備され、多くの人々が行き来しました。かつての城下町や宿場町を発掘すると、建物のあとや、当時のにぎわいを伝える出土品がみつかります。

## 文字にこめた願い

こたにあかさか  
小谷赤坂遺跡（松阪市）  
江戸時代

松阪市の天華寺境内から、礫石経を納めた穴が複数みつかりました。これは経塚の一種で、功德を積むため、お経を地中に埋めたものです。礫石経とは、紙の代わりに小石の平らな面にお経を書いたもので、礫石経を納める経塚のスタイルは、中世から近世にかけて流行りました。



礫石経・礫石経を納めた甕



参宮街道  
古市・中之地蔵町遺跡（伊勢市）  
参宮街道沿いの建物あと 江戸時代



## 展覧会関連イベント



### 記念講演会

講師：近江 俊秀氏（文化庁記念物課 文化財調査官）  
演題：「発掘された日本列島 2017 ここが見どころ」  
日時：10月9日（月・祝） 当日受付・無料  
午後1時30分～3時  
会場：三重県総合博物館 レクチャールーム

### 勾玉づくり体験

日時：10月8日（日）  
①午前10時30分～12時  
②午後1時30分～3時 事前申込・無料  
定員：各回20名  
会場：三重県総合博物館 実習室

### 連続講座

時間：午後1時30分～3時 当日受付・無料  
会場：三重県総合博物館レクチャールーム  
第1回 10月1日（日）「三重の旧石器・縄文時代」  
講師：勝山 孝文（三重県埋蔵文化財センター）  
第2回 10月14日（土）「三重の弥生時代」  
講師：櫻井 拓馬（三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課）  
第3回 10月21日（土）「三重の古墳時代」  
講師：渡辺 和仁（三重県埋蔵文化財センター）  
第4回 10月28日（土）「三重の古代」  
講師：大川 勝宏（斎宮歴史博物館）  
第5回 11月3日（金・祝）「三重の中世」  
講師：伊藤 裕偉（三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課）



時代	おもな出来事	資料を展示した遺跡	展示資料
原始	旧石器時代 海水面が低下し、大陸と一部陸続きとなる 三重県域に人が暮らしはじめる	コドノA遺跡(明和町) 曾祢崎遺跡(明和町) 内垣外遺跡(多気町)	 コドノA遺跡
	縄文時代 土器がつくられる 弓矢の使用 狩猟・採集の暮らし	志知南浦遺跡(桑名市) 堀之内遺跡(松阪市) 小牧南遺跡(四日市市) 天白遺跡(松阪市) 東庄内B遺跡(鈴鹿市) 上ノ垣外遺跡(多気町) 大鼻遺跡(亀山市) 西出遺跡(明和町) 大石遺跡(津市) 高血遺跡(多気町) 木造赤坂遺跡(津市) 新徳寺遺跡(多気町) 粥見井尻遺跡(松阪市) 野添大辻遺跡(大紀町) 山添遺跡(松阪市)	 粥見井尻遺跡※ 天白遺跡※
古代	弥生時代 稲作が伝わる 金属器が伝わる 各地にムラができ、争いがおこりクニができる 女王卑弥呼が邪馬台国を治める	宮山遺跡(いなべ市) 西肥留遺跡(松阪市) 菟上遺跡(四日市市) 舞出北遺跡(松阪市) 納所遺跡(津市) 小谷赤坂遺跡(松阪市) 亀井遺跡(津市) 村竹コノ遺跡(松阪市) 片野遺跡(津市) 堀町遺跡(松阪市) 六大A遺跡(津市) 筋違遺跡(松阪市) 中ノ庄遺跡(松阪市)	 納所遺跡 亀井遺跡
	古墳時代 近畿地方に大きな古墳がつくられる 近畿地方に大和朝廷(大和政権)が誕生  538年 仏教が伝わる(552年説あり)	石薬師東古墳群(鈴鹿市) 前田町屋遺跡(松阪市) 河田宮ノ北遺跡(鈴鹿市) 深長古墳(松阪市) 上椎ノ木1号墳(亀山市) 大足古墳(松阪市) 井田茶臼山古墳(亀山市) 中ノ庄古墳(松阪市) 太岡寺1号墳(亀山市) 東条1号墳(伊賀市) 六大A遺跡(津市) 近代古墳(伊賀市) 高茶屋大垣内遺跡(津市) 天童山8号墳(伊賀市) 木造赤坂遺跡(津市) 城之越遺跡(伊賀市) 雲出島貫遺跡(津市) 北堀池遺跡(伊賀市)	 近代古墳 東条1号墳
古代	飛鳥時代 593年 聖徳太子が摂政となる 645年 大化の改新 672年 壬申の乱	落河原遺跡(四日市市) 薬護遺跡(多気町) 替田遺跡(津市) カウジデン遺跡(多気町) 位田遺跡(津市) 高向B・C遺跡(伊勢市) 橋垣内遺跡(津市) 伊賀国庁跡(伊賀市) 六大A・B遺跡(津市) 夏見廃寺(名張市) 鳥居古墳(津市)	 中ノ庄古墳 夏見廃寺
	奈良時代 710年 奈良に都がつくられる(平城京) 743年 東大寺大仏造立の詔(752年完成)	舞出北遺跡(松阪市) 堀田遺跡(松阪市) 小谷赤坂遺跡(松阪市) 朝見遺跡(松阪市) ヒタキ廃寺(松阪市) 北野遺跡(明和町) 齋宮跡(明和町) 長谷町遺跡(明和町) 東裏遺跡(多気町)	 齋宮跡 齋宮歴史博物館蔵 ヒタキ廃寺
	平安時代 794年 京都に都がつくられる(平安京) 藤原氏が摂関政治をおこなう 1086年 白河上皇の院政がはじまる 武士の台頭(源氏・平氏)	経塚中世墓(いなべ市) 箕升氏館跡(伊賀市) 小社遺跡(鈴鹿市) 火山遺跡(伊賀市) 安濃津柳山遺跡(津市) 村中遺跡(名張市) 雲出島貫遺跡(津市) 多気北島氏遺跡(津市) 瀬木遺跡(津市) 里前遺跡(津市) 下川遺跡(津市) 東沖遺跡(松阪市) 寄谷遺跡(松阪市) 山室町出土資料(松阪市) 岩出遺跡群(玉城町) 野添大辻遺跡(大紀町) 紀伊長島沖海上がり土器(紀北町)	 朝見遺跡 雲出島貫遺跡 経塚中世墓 安濃津柳山遺跡
中世	鎌倉時代 1185年 平氏滅亡、守護・地頭の設置 1192年 源頼朝 征夷大將軍となる 1274年・1281年 元寇(文永・弘安の役) 1334年 後醍醐天皇による建武の新政	下郡遺跡(伊賀市) 小泉氏館跡(伊賀市) 印代東方遺跡(伊賀市) 風呂谷館跡(伊賀市)	 下郡遺跡 寄谷遺跡
	室町時代 1338年 足利尊氏 京都に幕府をひらく 南北朝の動乱つづく(~1392年) 1467年 応仁の乱はじまる	大会遺跡(亀山市) 下郡遺跡(伊賀市) 六大B遺跡(津市) 高河原遺跡(伊勢市) 小谷赤坂遺跡(松阪市) 古市・中之地蔵町遺跡(伊勢市)	 大会遺跡
近世	安土桃山時代 1590年 豊臣秀吉が全国統一 1600年 関ヶ原の戦いで徳川家康勝利		 寄谷遺跡
	江戸時代 1603年 徳川家康 江戸に幕府をひらく 1867年 大政奉還		 大会遺跡

各時代の色は、「発掘された日本列島2017」および地域展示「三重を掘る!」の展示パネルと対応しています。 ※印の土偶は10月15日(日)まで展示。

編集・発行 三重県総合博物館・三重県埋蔵文化財センター

本書は、第17回企画展「発掘された日本列島2017」地域展示「三重を掘る!」の解説冊子として作成したものです。本書の執筆および編集は、三重県埋蔵文化財センターと澄がおこないました。同センター所蔵遺物の撮影は、田中・和澄がおこないました。

**MieMu**  
みえむ  
三重県総合博物館  
MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan

三重県津市一身田上津部田 3060  
(三重県総合文化センター向かい) 〒514-0061  
tel 059-228-2283 (代表) fax 059-229-8310  
mail MieMu@pref.mie.jp  
web http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/

**三重県埋蔵文化財センター**  
まいぶんセンター



三重県多気郡明和町竹川 503  
(斎宮歴史博物館内) 〒515-0325  
tel 0596-52-1732 (代表) fax 0596-52-7035  
mail maibun@pref.mie.jp  
web http://www.pref.mie.lg.jp/maibun/hp/

